

# KIJIMA ORIGINALPARTS

## TECHNICAL SERVICE MANUAL



SUZUKI 17y- V-STROM 250・

13y- GSR250/S用 エンジンガード

<商品番号：405-2292>

### 【取扱説明書】



**取付け前に必ずお読みください。**

作業時間

GSR250 : 0.7h

V-Strom250 : 2.2h

※カット加工を含む

このたびは、当社製商品をお買い上げいただきありがとうございます。  
本製品は以下のことをご理解のもと作業していただきますようお願い申し上げます。  
作業にあられる方は本体車両メーカーのサービスマニュアルに準ずる知識及び技術を持った方に限ります。

- ・取付け前に商品構成の内容を必ずご確認ください。
- ・本取付け説明書に則った取付けを行う。
- ・道路交通法・道路運送車両法を厳守する。
- ・本製品への加工を加えない。
- ・運行前点検及び、定期的な保守整備を行う。
- ・不具合が発生した場合速やかに使用を中止する。

以上の事柄を必ずお守りください。

万が一、商品に不備があった場合は、取付けを行わないでください。  
上記が守られていない場合、商品への保証は一切いたしません。  
また、株式会社キジマは本製品にのみ責任を持つものであり、本製品の品質以外（修理費、取付工賃等）どのような事柄に対しても責任を負いかねますのでご了承ください。

### 《部品構成内容》

部番	品名	個数	部番	品名	個数
①	本体（左右）セット	1	⑤	M10 用平ワッシャー	2
②	オスクランプ	2	⑥	カラー φ19×φ11×8t	4
③	キャップボルト M10×110L	2	⑦	フランジボルト M6×10L	1
④	フランジボルト M6×25L	2			

..... 本製品取付けに当たっての注意点 .....

※本製品は SUZUKI 17y～ V-Strom 250 (2BK-DS11A /8BK-DS12E)・13y～ GSR 250 / S (JBK-GJ55D)に対応。

注・17～V-strom250 に装着する場合、純正アンダーガードをカット加工して頂くか、取り外す必要があります。

※本製品は、軽微な転倒でエンジンにキズが付く事を防ぐための商品です。

※作業中は、必ずメインキーをOFFにする事。

※作業中に車体が倒れたりして危険ですので、作業は水平な場所で車体を安定させて行う事。

※純正部品の取外し／取付け、ボルト／ナットの締め付けについてはメーカー発行サービスマニュアルに基づいて、確実に行ってください。

## ＜取付け方法＞

※本文中や図中に出てくる丸囲み数字は前ページの部品構成内容表の部番に対応しています。



付属ボルト③/平ワッシャー⑤/カラー⑥

- 1 最初にセンタースタンドを使用して車体を安定した状態にして下さい。さらにエンジン下部にジャッキを当て、エンジンマウントボルトを抜いた際に穴位置がズレない様にしておいて下さい。

また、左側のラジエーターホース固定ボルトを外して作業を行って下さい。(エンジンマウントボルトの抜き差しのためホースをたわませる自由度が必要です。) (写真A参照)

※装着時に傷が付く可能性がある為、エンジンケースやラジエーターホース固定部をテープ等で保護して下さい。

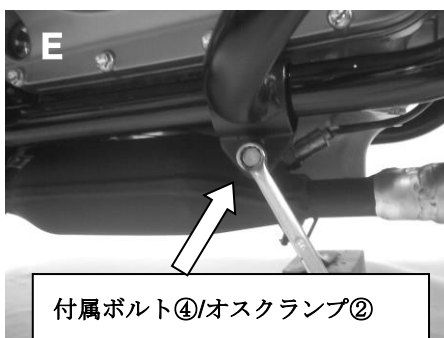
- 2 次にエンジンマウント部の純正ボルト/ナットを緩めて2本とも引き抜いて下さい。 (写真B参照)

- 3 エンジンガード①左側にボルト③/平ワッシャー⑤/エンジンガード左側①/カラー⑥の順に通します。 (写真C参照)

- 4 ボルト類を通したまま、左側のエンジンガードをフレームにあてがいボルトを押し込みます。反対側も付属カラー⑥/エンジンガード①/純正ナットの順で仮締めします。 (写真D参照)

※締付けトルク値：60 N・m 必ずナット側で締付けをして下さい。

注・フレームとエンジンの隙間が狭いため、予め付属オスクランプ②を本体側に引っかけておいて下さい。



付属ボルト④/オスクランプ②

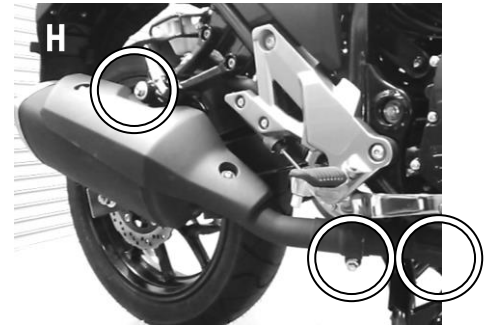
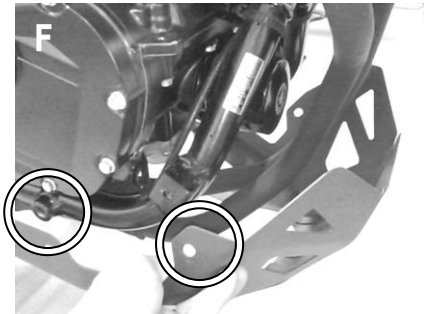


装着イメージ

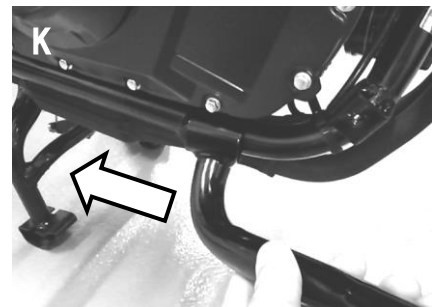
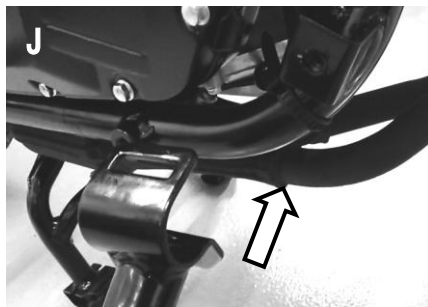
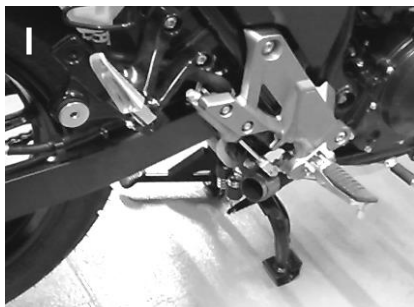
- 5 フレームダウンチューブのクランプ側も付属オスクランプ②を付属フランジボルト④で仮固定します。 (写真E参照)
- 6 最後に各部を締め込み、ラジエーターホースを再度固定して完了です。

## ※V-strom 250 取付け方法

※エンジンガード(左)は、上記の説明手順で取付けて下さい。右側については下記の手順で取付けを行なって下さい。



1. 写真 F の丸印部の純正ボルトを 4 本取外し、純正アンダーガードを取外します。 (写真 F 参照)
2. 左右のエキゾーストパイプのフランジ固定ボルトを緩めます。 (写真 G 参照)
3. 純正ボルト/ナットを取外して 純正サイレンサーを取外します。 (写真 H/I 参照)



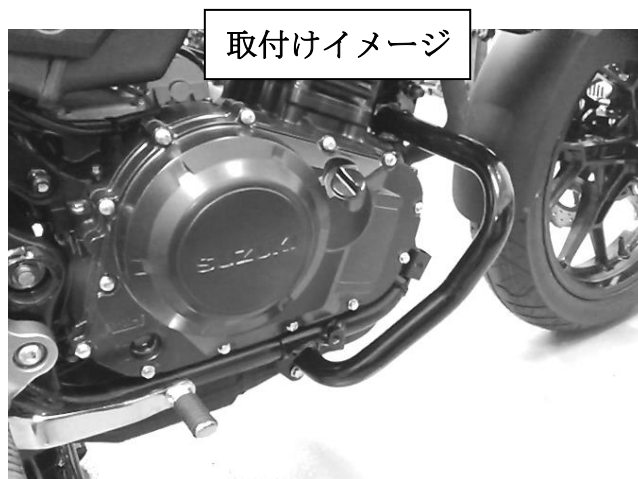
4. エンジンガード(左)の下部クランプ部をフレームパイプにあてがい、裏側から付属オスクランプ②を嵌めながらスライドさせます。 (写真 J/K 参照)

※オスクランプ②を取付けの際にマフラーに傷が付く恐れがある為、必ず保護して下さい。  
(必ずマフラーが冷えている時に作業して下さい。)



5. 左側の取付けでエンジンマウント部に通した付属ボルト③に付属カラー⑥を差し込みます。 (写真 L 参照)
6. エンジンガード本体①の上部ステーをボルトに通して純正ナットで固定します。 (写真 M/N 参照)

※締付けトルク値：60 N・m 必ずナット側で締付けをして下さい。



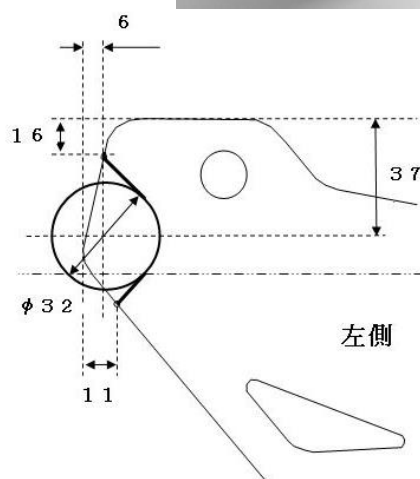
7. エンジンガード下部のクランプを付属ボルト④で固定して、マフラー等を組み戻して完了です。

(写真0参照)

※2023 y モデル以降は、マフラーに干渉する為、左側のみボルト⑦（短い）で固定して下さい。

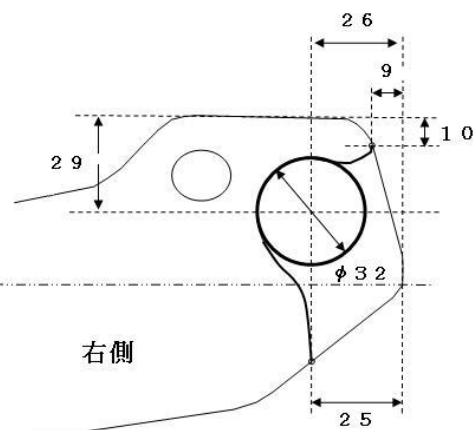
傷が付かない様に注意して作業して下さい。

※下記の寸法でカット加工すると、純正のアンダーガードを併用可能です。



折曲げライン

左側



右側

※上記寸法は、2017 y ～2022 y までのモデルでのカット寸法です。

2023 y 以降のモデルも上記を参考にカットして下さい。干渉がある場合には、追加でカットして下さい。

※必ず、定期的なボルト類の増し締め点検を行って下さい。

モーターレク総合開発メーカー

株式会社

**キジマ**

MOTORCYCLE PARTS&ACCESSORIES KIJIMA co.,ltd.

www.tk-kijima.co.jp

〒123-0841 東京都足立区西新井 4-16-3 TEL. 03-3897-2167 FAX. 03-3897-2138